

今回、福島キャラバンに参加し、実際に現地を訪れることで、東日本大震災と原発事故の影響が今も続いていることを強く実感しました。ニュースや資料で知っているつもりでも、現地の風景や被災された方の話を直接聞くことで、その現実の重さを改めて感じました。

特に印象に残ったのは、避難を余儀なくされた地域や、復興が進んでいる一方でまだ多くの課題が残っているという現状です。時間が経っても、故郷に戻れない人や生活を立て直すことの難しさがあることを知り、震災と原発事故は決して過去の出来事ではないと感じました。

また、原発事故による影響や避難の問題などについて学ぶ中で、防災やエネルギーのあり方について自分自身ももっと考えていく必要があると思いました。現地で学んだことを自分の中だけにとどめるのではなく、多くの人に伝えていくことも大切だと感じました。

今回の福島キャラバンで得た学びを今後の活動や日常生活の中でも活かし、震災や原発事故の教訓を忘れないようにしていきたいと思います。